



扉 ベトナムの民族楽器

青木有理 1



まなぶということ

小島正雄 2



今月の統計資料

4



詩 小さな火花でも まつうらまさお 8



特集

カール・マルクス著

『賃労働と資本』を学習しよう！

『賃労働と資本』 その成り立ちと意義

足立康次 10

搾取と窮乏化はわかつたけど……

春日一徹 15

労働力が適正な価格で売れるには

青木恵子 16

労働者だけでなく街の存続を左右する資本の力

亀梨一英 18

広がる格差と人手不足

労働者にとって好条件とは ……伊沢 律 20

日本のうしろ 世界のうしろ

抗議の声をあげる世界の仲間たち

浦田 誠

アメリカ大統領選挙と労働組合

山崎 憲 22

賃上げを社会に定着させることができるか ……荒川創太

第2特集

教員の働き方が見直されるいまを 教育の再生の機会にしよう

金子 彰 35

職場の法律相談

社宅制度はあるが 女性は使えない

花垣存彦 56

国家と教育

22

戦前期複線型学校制度の実相

飯野友香理 59

◆ 情報BOX

◆ みんなで歌を

◆ キャラバンサライ

◆ スポーツ時評

◆ メルボルン便り

◆ 経済を知ろう！

34

42

44

46

48

50

◆ 中国観看

◆ 働くものと健康

◆ 北から南から

◆ センターと

◆ みなさんをつなぐ

52

54

63

68

カット野崎安希子

まなぶということ

学習が楽しく感じられる時間

小島 正雄

労大まなぶ全国連絡会総会で代表になりました。よろしくお願ひします。

まなぶ誌を購読されている方の多くは、労働組合活動を通じて購入し、学習会に参加するようになったのではないのでしょうか。私自身もそうでした。まわりには「学習よりも日々の労組活動の方が大切」と言う人も少なくありませんでした。私も毎日の組合行事をこなすのに四苦八苦していて、どうしても学習は後回しになっていました。いまでは少ない自由時間を割いて学習会に参加してきたことが、組合活動に活かされてきたと思っています。

労組青年部の頃、職場でパソコン（PC）導入が提案されました。便利になると歓迎する声が多かったことを覚えています。当時の学習会で「資本主義的合理化」について話し合っていたこともあり、PCも体制的合理化の一つではと議論しました。仕事が早くでき

るようになってからも、自分たちが楽になるのだろうか。これまでより早く帰宅できるのだろうかといったことも話し合いました。ある職員が「PCから発する電磁波が胎児に影響しないの？」と言ってきたことがきっかけで、職場でアンケートを取りました。多く出されたのが視力低下への不安でした。これを組合に持ち上げ、要求に押し上げました。

結果としては、連続使用時間の上限を決め、休息を取り入れることで決着しました。PC導入は職場の人員削減へとつながり、休息どころでなくなりましたが、学習には疑問を呼び起こす効果があることも経験しました。

非正規の組合結成に関わり、賃金や休暇制度など、正規との格差の現実を知りました。差をつけなければならぬ根拠はなにもないことなど、学習会で議論し、交渉に活かしています。仕組みや背景がわかれば、対策も出てきます。そういったことも学習が楽しく感じられる時間ではないでしょうか。

（労働大学まなぶ友の会全国連絡会 議代表）